

(2) 各学年の取組

第1学年 テーマ「郷土を知ろう」

1 ねらい

- 野外宿泊学習においては、佐世保市の豊かな自然を味わうとともに、団体行動を通して基本的な生活習慣を身につけさせるとともに、リーダーの養成と仲間づくりをねらいとして活動させる。
- ふるさと歴史発見学習においては、ふるさと佐世保がどのような歴史的役割を果たしたかを学び、郷土のすばらしさを再認識させるとともに、学んだ事をわかりやすく、いねいにまとめる方法を考えさせる。
- 佐世保市近隣の高校の説明を聞き、学活の職業調べとともに進路実現にむけての進路学習の一環とし、より良い生き方を探求しようとする態度を養う。
- これらの活動を通して、学校教育目標を具現化する。

2 生徒の活動の様子と感想

【野外宿泊学習における特色ある取組】

九十九島の豊かな自然を体感する

「シーカヤック体験」「海の学習会」

【ふるさと発見学習】

佐世保の歴史を学ぶ

「SSK、セイルタワー」

「泉福寺洞穴、東漸寺、武辺城、飯森神社」

【進路学習】

高校説明会



3 成果・課題

【野外宿泊学習】

- シーカヤック体験と海の学習会は生徒たちに好評で、楽しみながら活動することができた。九十九島に隣接する地域性を生かした学校の特色を生かすことができ、野外宿泊活動の内容の幅を広げることになった。
- 中学に入学して間もない1年生にとっては、中学生としての自覚と責任を確認する上でも、集合整列やあいさつの仕方、話を聞く姿勢などを徹底することができ、学校生活の規律向上につながった。
- 飯盒炊爨やキャンドルファイヤーでのレクリエーション、沢登りといった活動を通して、級友や教師との親睦をはかることができ、その後の学校生活や学級づくりに生かすことができた。

【ふるさと歴史発見学習】

- 身近な存在でありながら、詳しく知らなかった郷土の歴史と価値を知ることによって郷土愛が深まり、佐世保で生きる人々の誇りや願いに思いを寄せることができた。
- 社会科や国語科の教科指導とも連携し事前学習を行い、目的を持ってそれぞれのコースを見学することができた。また、学習後学んだ事を各自が新聞にまとめ掲示することで、その成果を発表することができた。

【進路学習】

- 第1学年での実施では生徒の興味や関心が低いのではないかと危惧されたが、予想に反して高い興味を示した。高校の先生から直接話をしてもらうことで、生徒はより現実味のある話として聞いていた。自分の将来を真剣に考えていく上でもよい啓発となった。
- 各高校の特色を知ることによって、中学校での学習により具体的な目標をもつことができ、学習意欲の向上につながった。学級活動で行う自分を知り様々な職業について学ぶ学習と合わせて、自分の将来のプランについて考えさせていきたい。